

ネイティブラットプロテインキナーゼC触媒サブユニット

Cat. No. NATE-0578

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 プロテインキナーゼC (PKC) は、セリン/スレオニンキナーゼであり、さまざまな活性化されたホスホリパーゼの作用を通じて、ホスファチジルイノシトール二リン酸 (PIP2) およびホスファチジルコリン (PC) から DAG を生成するシグナル伝達経路によって細胞内で活性化されません。フォルボールエステルも PKC を刺激します。少なくとも 11 種類の PKC アイソザイムが同定されており、これらは一次構造、組織分布、細胞内局在、細胞外シグナルへの応答、および基質特異性において異なります。アイソザイムは 3 つのサブファミリーに分類できます。最初のファミリーのメンバーは Ca²⁺ およびホスホリピッドを必要とし、PKC α 、 β I、 β II、および γ が含まれます。第二のファミリーのメンバーはホスホリピッド依存ですが Ca²⁺ 非依存であり、PKC δ 、 ϵ 、 η 、および θ が含まれます。第三のファミリーのメンバーは DAG またはフォルボールエステルによって活性化されず、PKC ξ 、 μ 、および ι が含まれます。

別名 PKC-M、PKM; PKCM; プロテインキナーゼC触媒サブユニット

製品情報

種	ラット
由来	ラットの脳
純度	> 90% (SDS-PAGE)
活性	> 800 ユニット/mg タンパク質
濃度	25 μ g/mL タンパク質
緩衝液	ストレージバッファー: 20 mM Tris-HCl, pH 7.5, 2 mM EGTA, 2 mM EDTA, 1 mM DTT, 10 mM カリウムリン酸塩, 50% グリセロール, 0.05% Triton™ X-100
代謝経路	B細胞受容体シグナル伝達経路、特定の生物系; 心筋細胞におけるカルシウム調節、特定の生物系; EGFR1シグナル伝達経路、特定の生物系; Gタンパク質シグナル伝達経路、特定の生物系; 代謝、特定の生物系; 脂質およびリポタンパク質の代謝、特定の生物系; 子宮筋の弛緩と収縮経路、特定の生物系
機能	ATP結合; 金属イオン結合; ヌクレオチド結合; プロテインキナーゼC活性; プロテインセリン/スレオニンキナーゼ活性; プロテインセリン/スレオニンキナーゼ活性
単位定義	1ユニットは、30°Cで基質としてヒストンIIIを使用し、活性化剤としてホスファチジルセリンを使用して、1分あたり1ナノモルのリン酸塩を転送します。

使用法とパッケージング

包装	200 ngのバイアル
調製方法	PKCのトリプシン消化によって調製されました。

保管・発送情報

安定性 -70°C